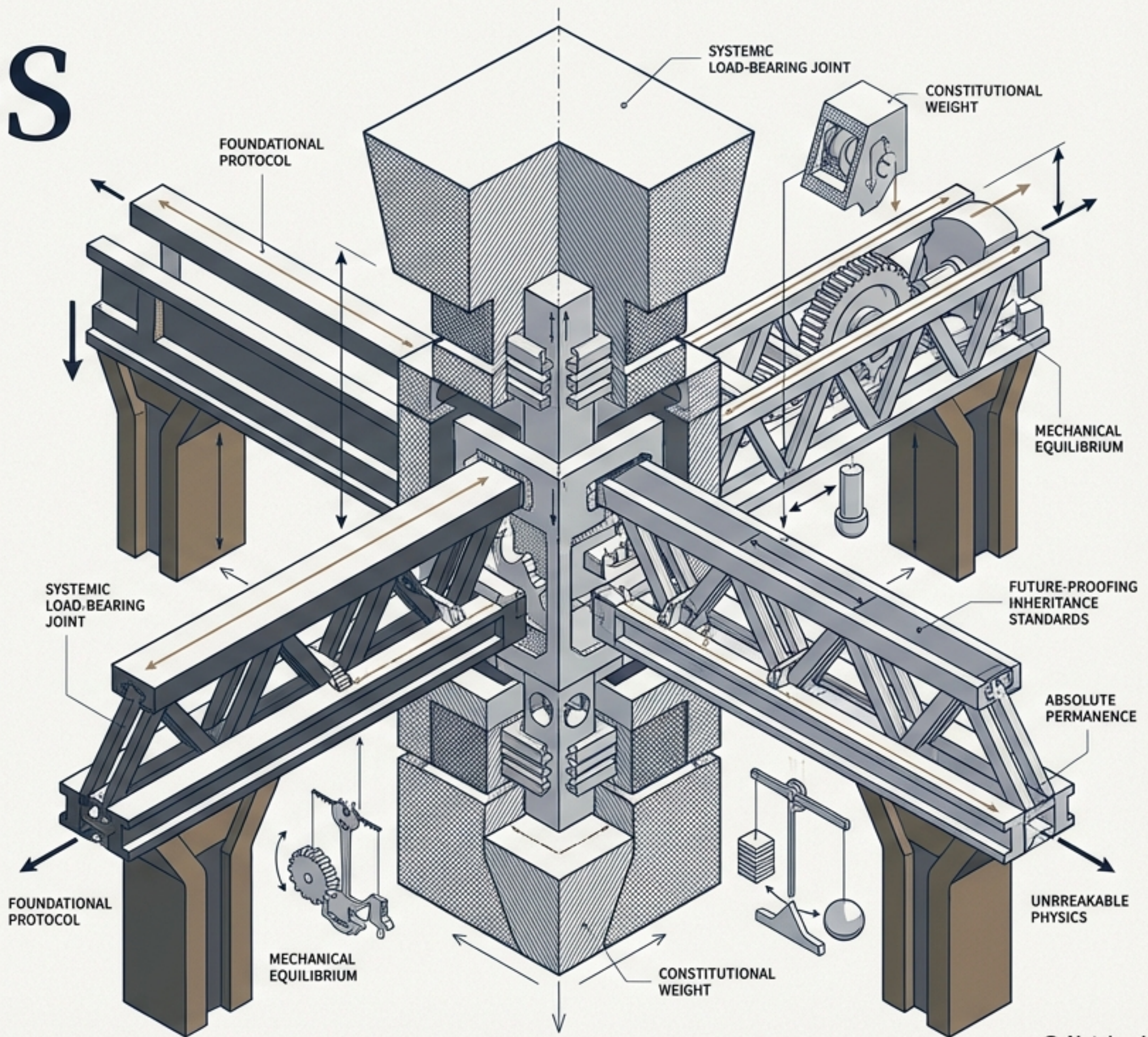


# 不動産市場OS 【原点宣言】

合意形成社会を  
崩壊させないための  
継承規格と未来責任

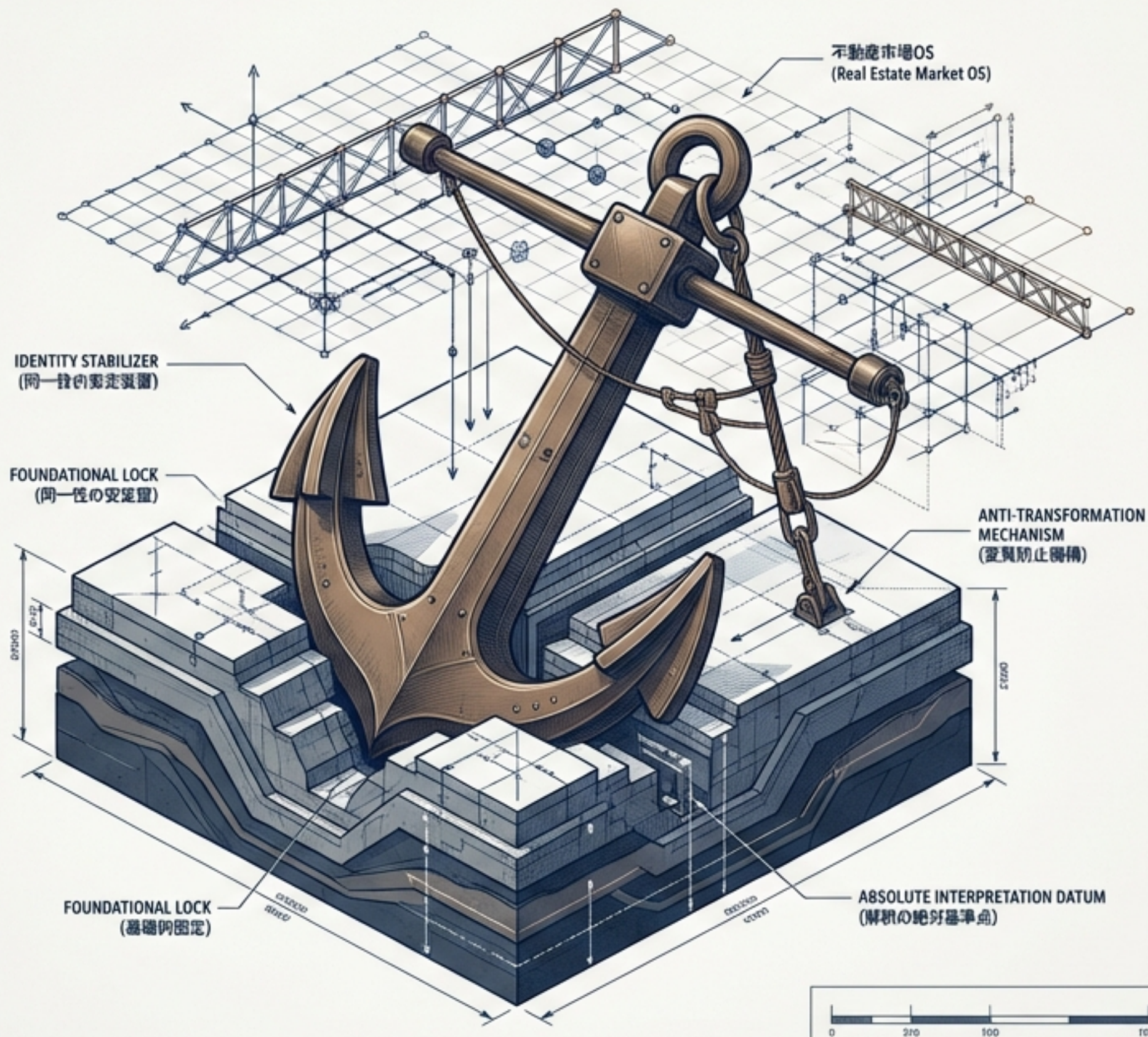
中川マスターの  
灯火構想と構造論  
公式アーカイブ Vol.10 準拠



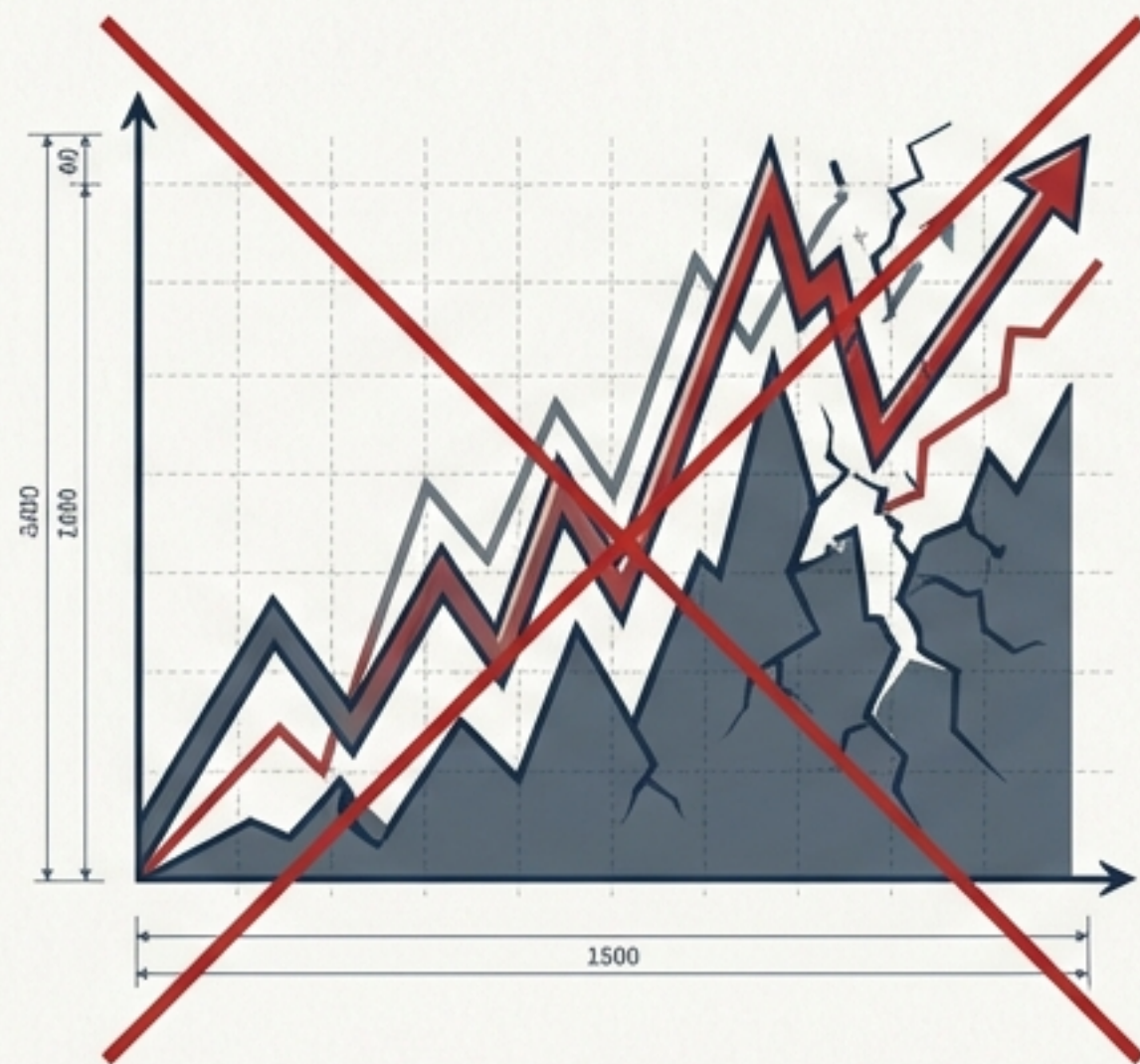
# これはシリーズの「まとめ」ではない。変質を防ぐための「固定」である。

本稿は、不動産市場OSが拡散したあとも、  
国家・市場・資本の力によって変質せずに  
継承されるための「同一性の錨 (Anchor  
of Identity)」です。

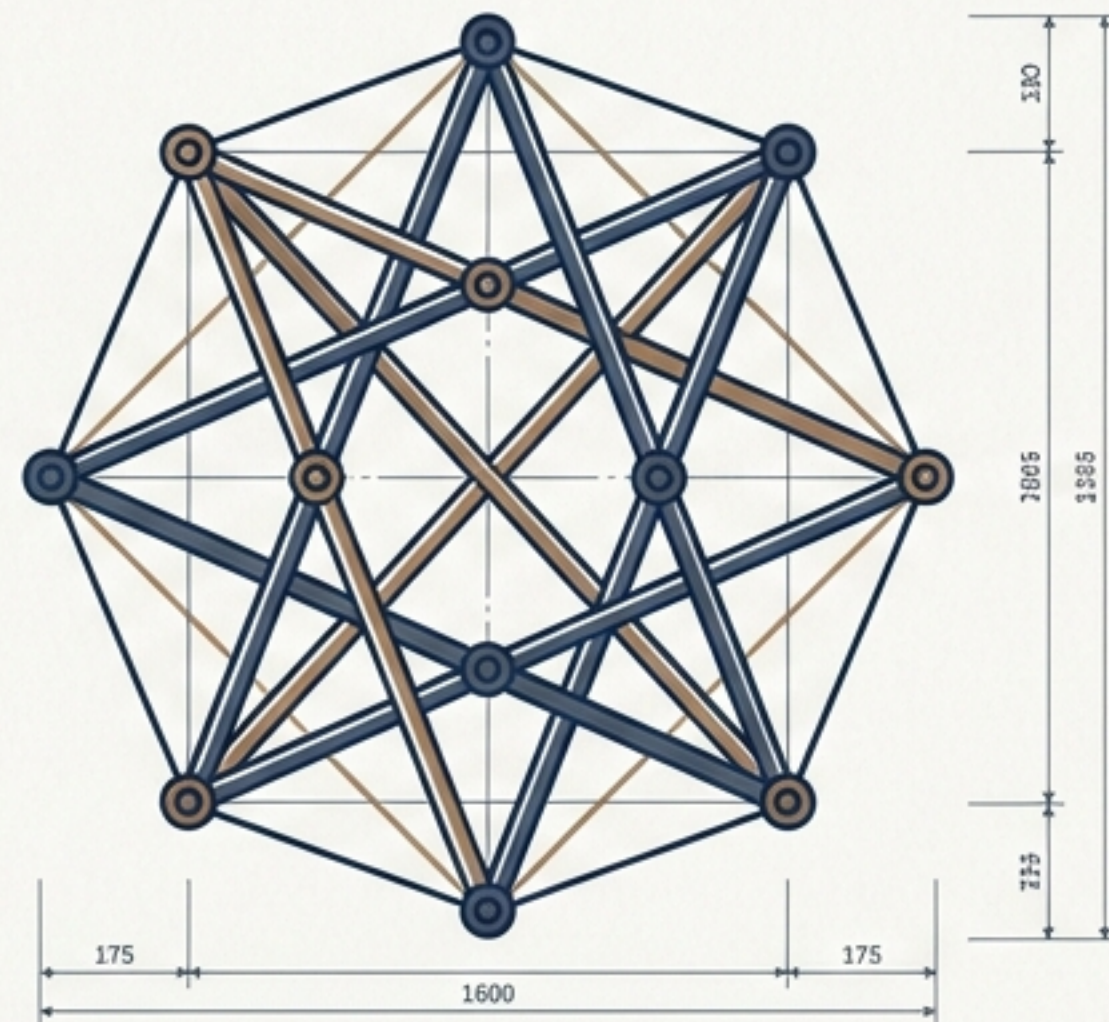
ここで定義されるのは「機能」ではなく  
「方向」であり、「制度」や「技術」では  
なく「解釈の絶対基準」となります。



# 利益最大化のツールから、合意形成のインフラへ。



- 【否定】：本理論は、不動産市場の効率化や業者の利益最大化のための手法ではありません。

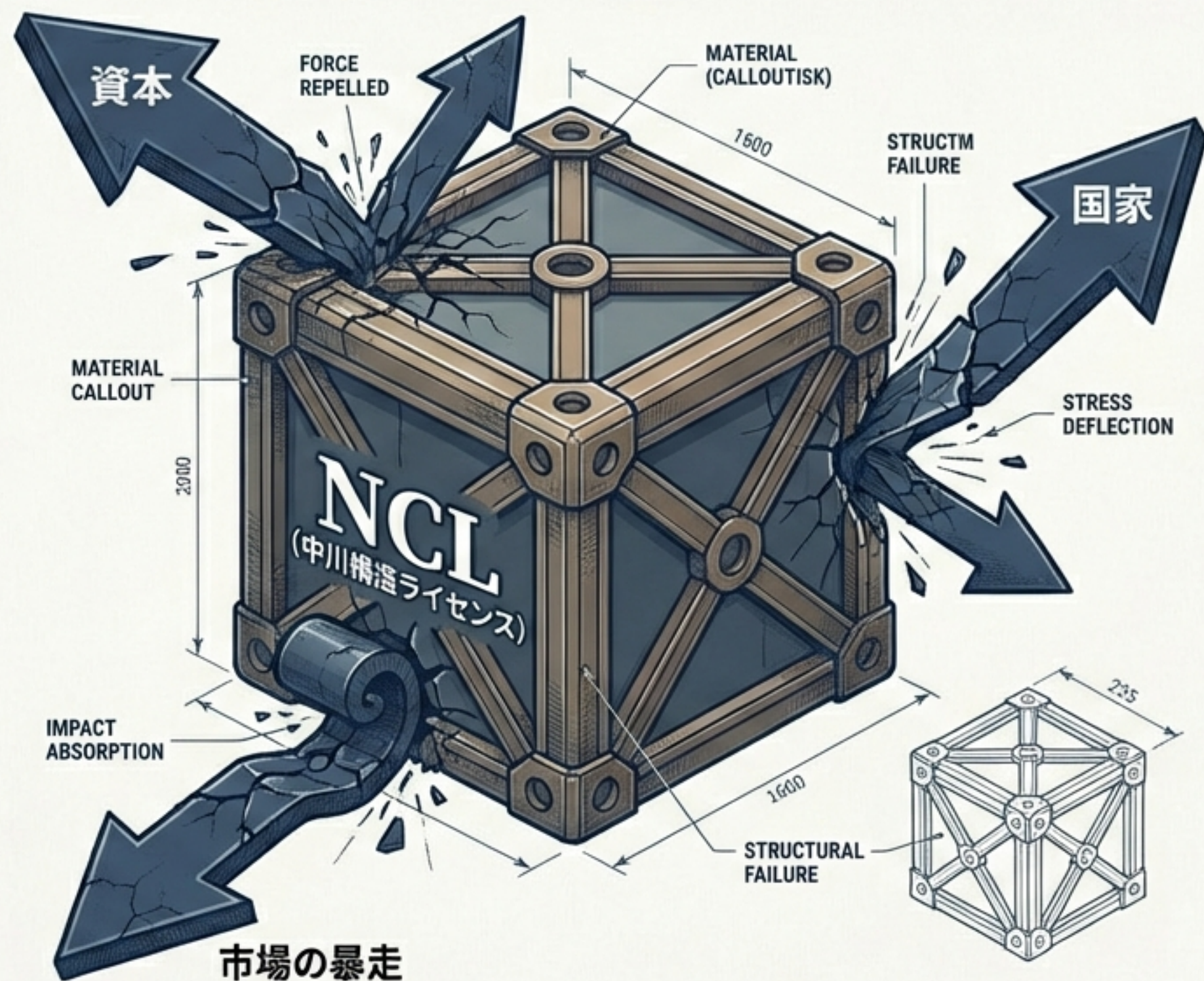


- 【真の目的】：情報の非対称性を排除し、すべての当事者が「理由を理解したうえで選択できる状態」を維持するための社会設計（Social Design）です。

# システムを資本と権力から守る「同一性の錨」：NCL

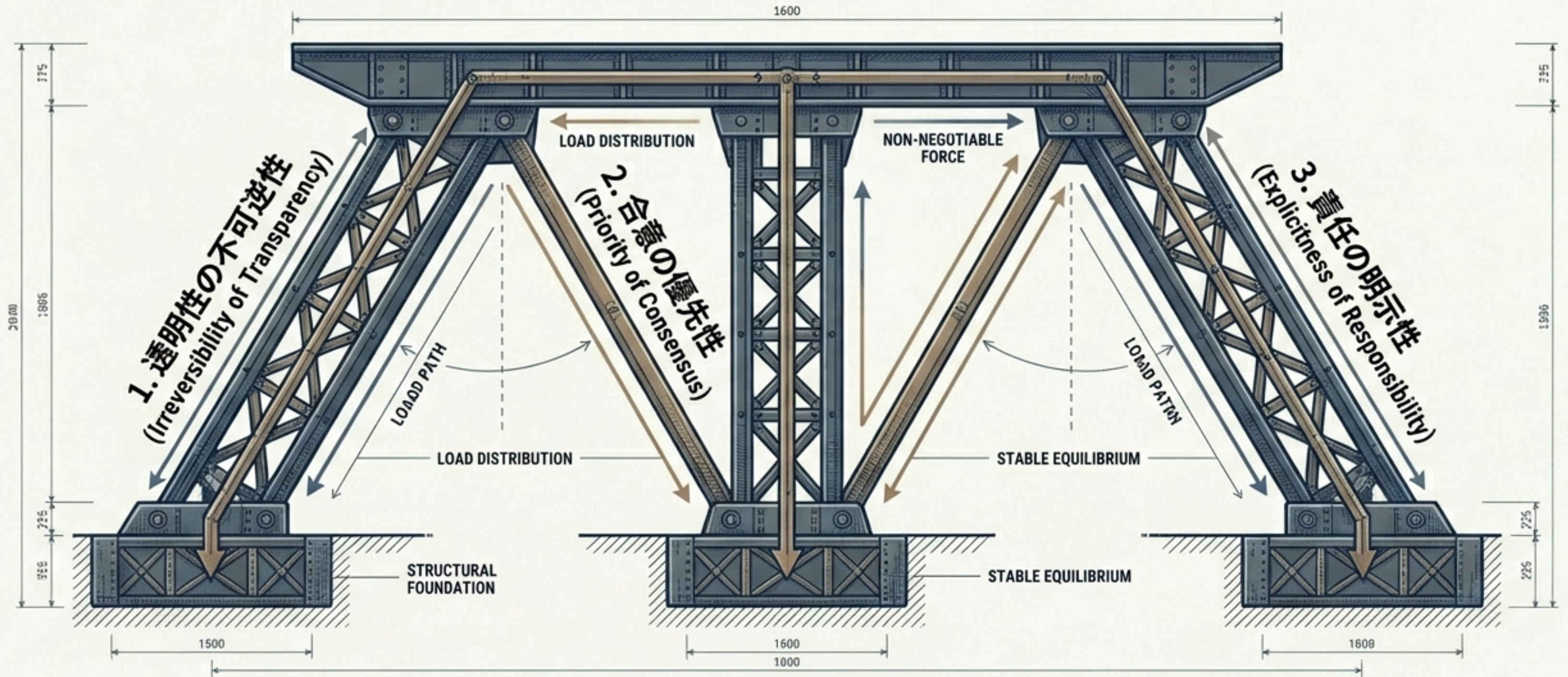
優れたツールであっても、倫理的な「錨」がなければ、やがて搾取のメカニズムへと退化します。

NCLは、不動産市場OSが「誰か一部の人間だけが得をする装置」へ分裂するのを防ぐための、不可逆の防衛線です。



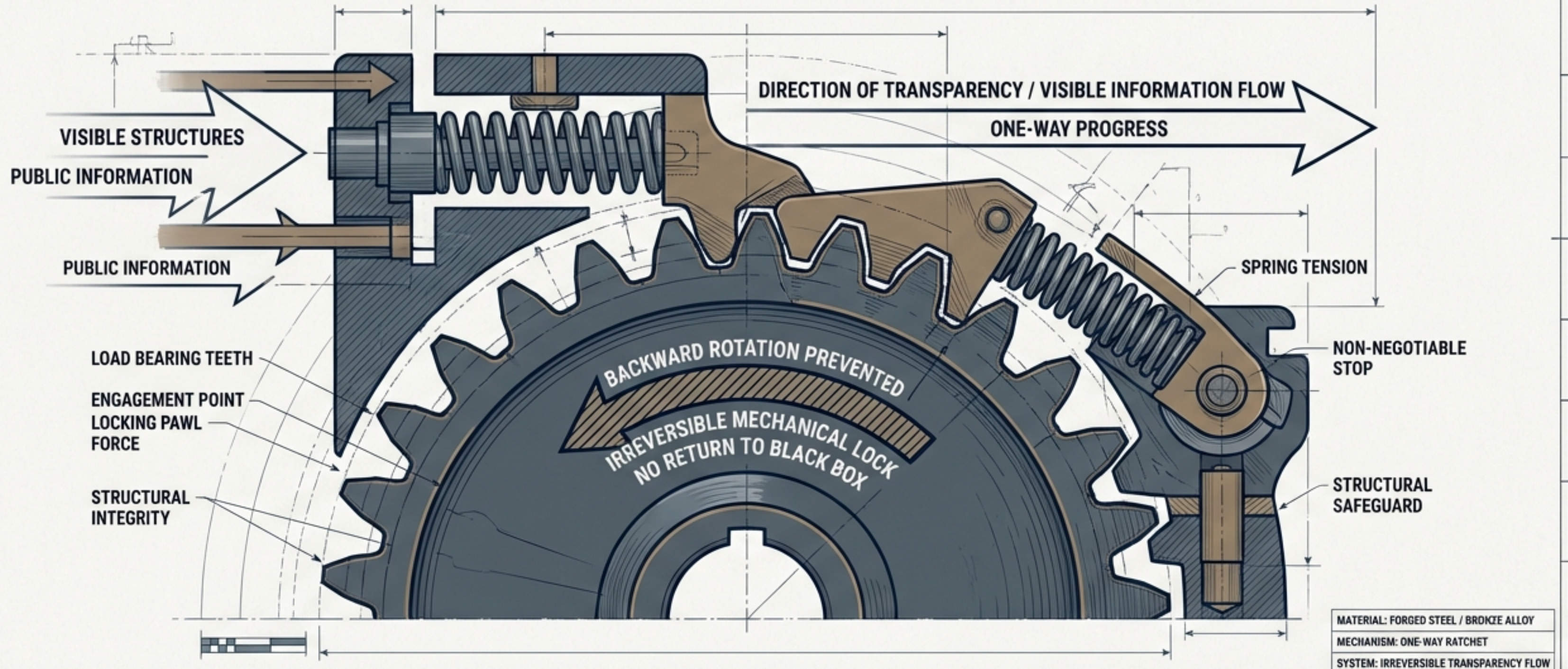
# 社会設計の憲法となる「NCL三原理」

NCLの中心を成す、絶対に妥協できない3つの力学。



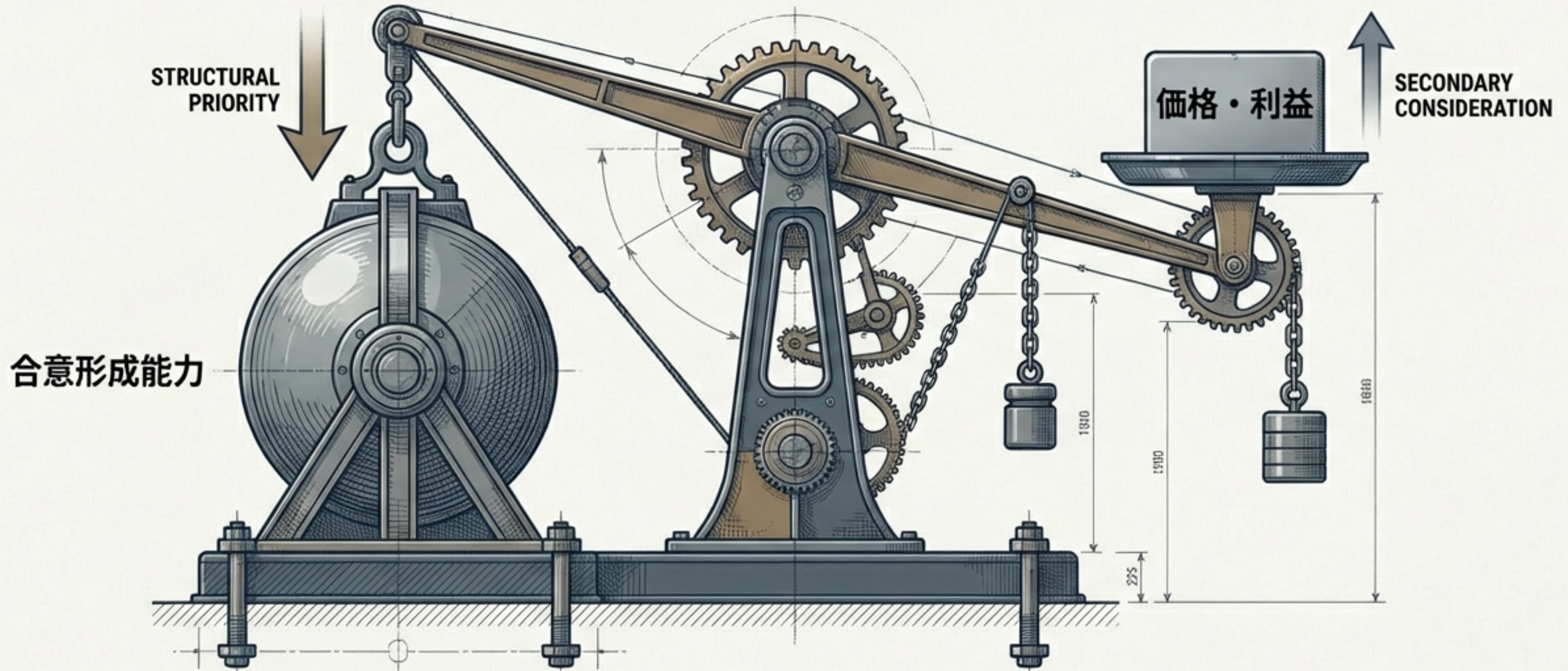
# 原理1：透明性の不可逆性

一度社会に提示され、可視化された情報や構造の前提を、再びブラックボックスに隠蔽してはならない。透明性の後退は、いかなる理由があろうとも構造的な「バグ」として処理されます。



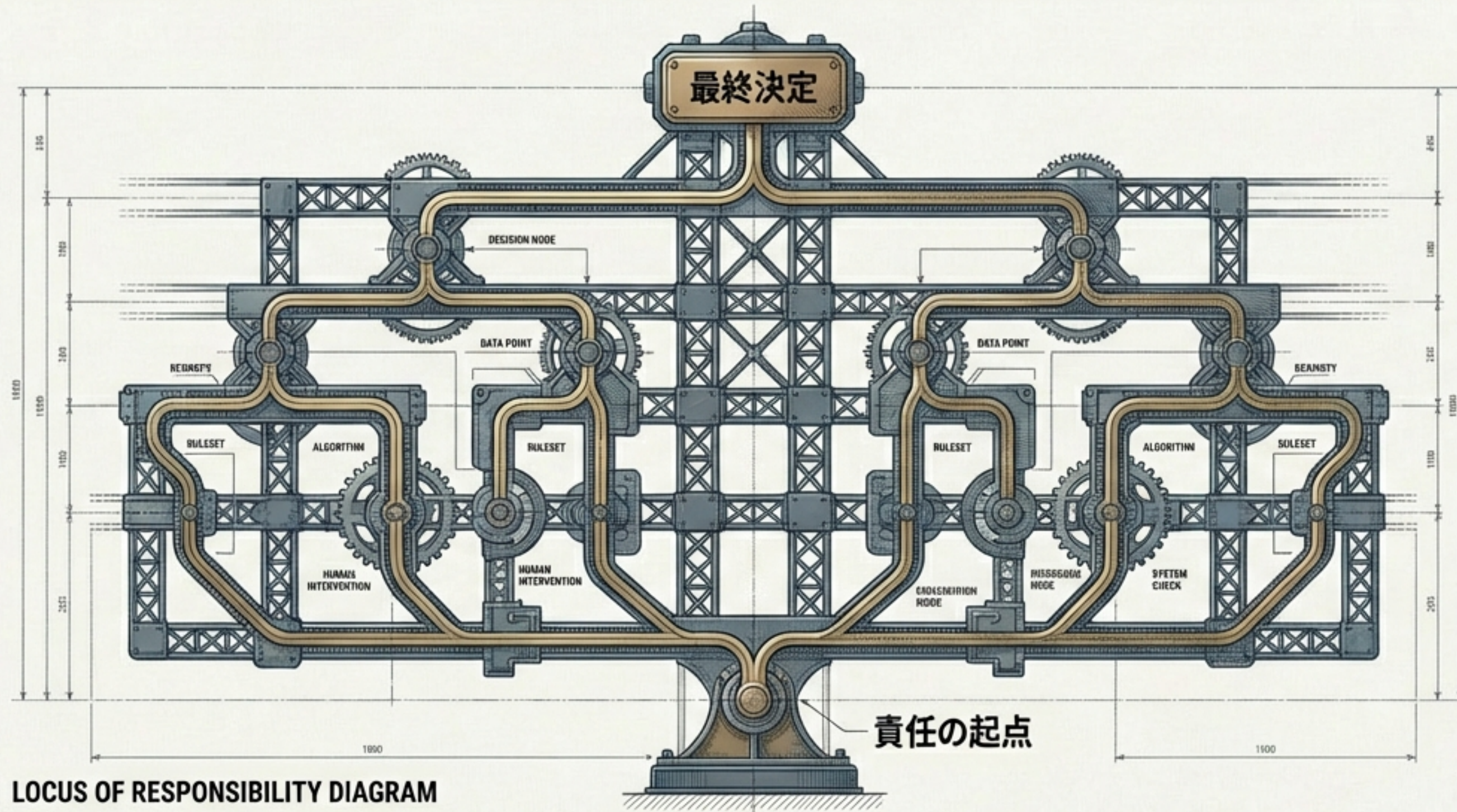
## 原理2：合意の優先性

システムが最適化すべきは「価格の高さ」や「取引のスピード」ではありません。  
当事者間での「合意形成が成立する能力」を最優先の指標として設計・運用します。



# 原理3：責任の明示性

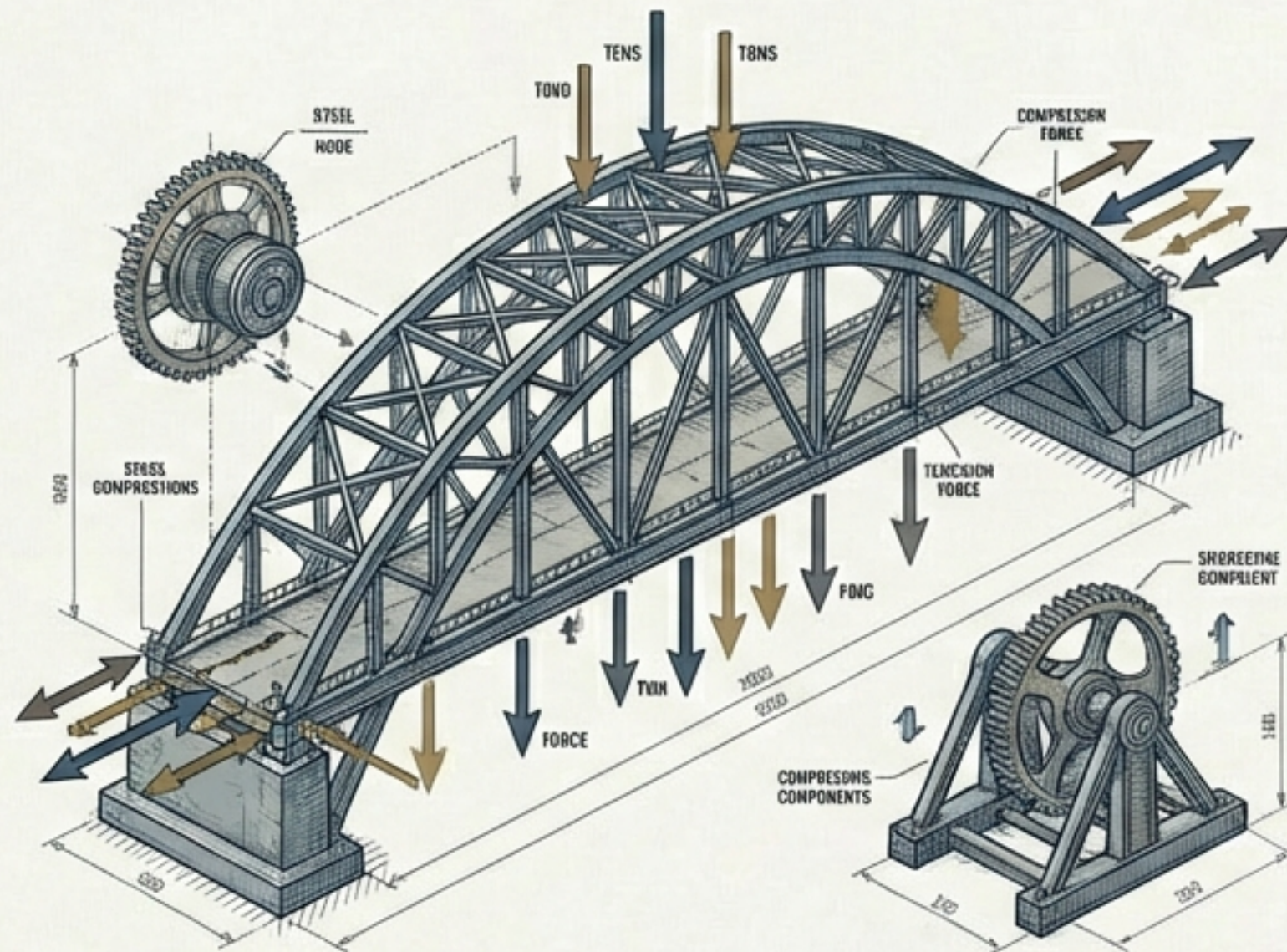
制度であれ、AIであれ、人間の判断であれ、「誰が、どの根拠で、その選択を下したのか」を曖昧にしない。説明責任の所在（Locus of Responsibility）は常に追跡可能でなければなりません。



LOCUS OF RESPONSIBILITY DIAGRAM

# 道徳的な裁判ではない。これは「構造の力学」である。

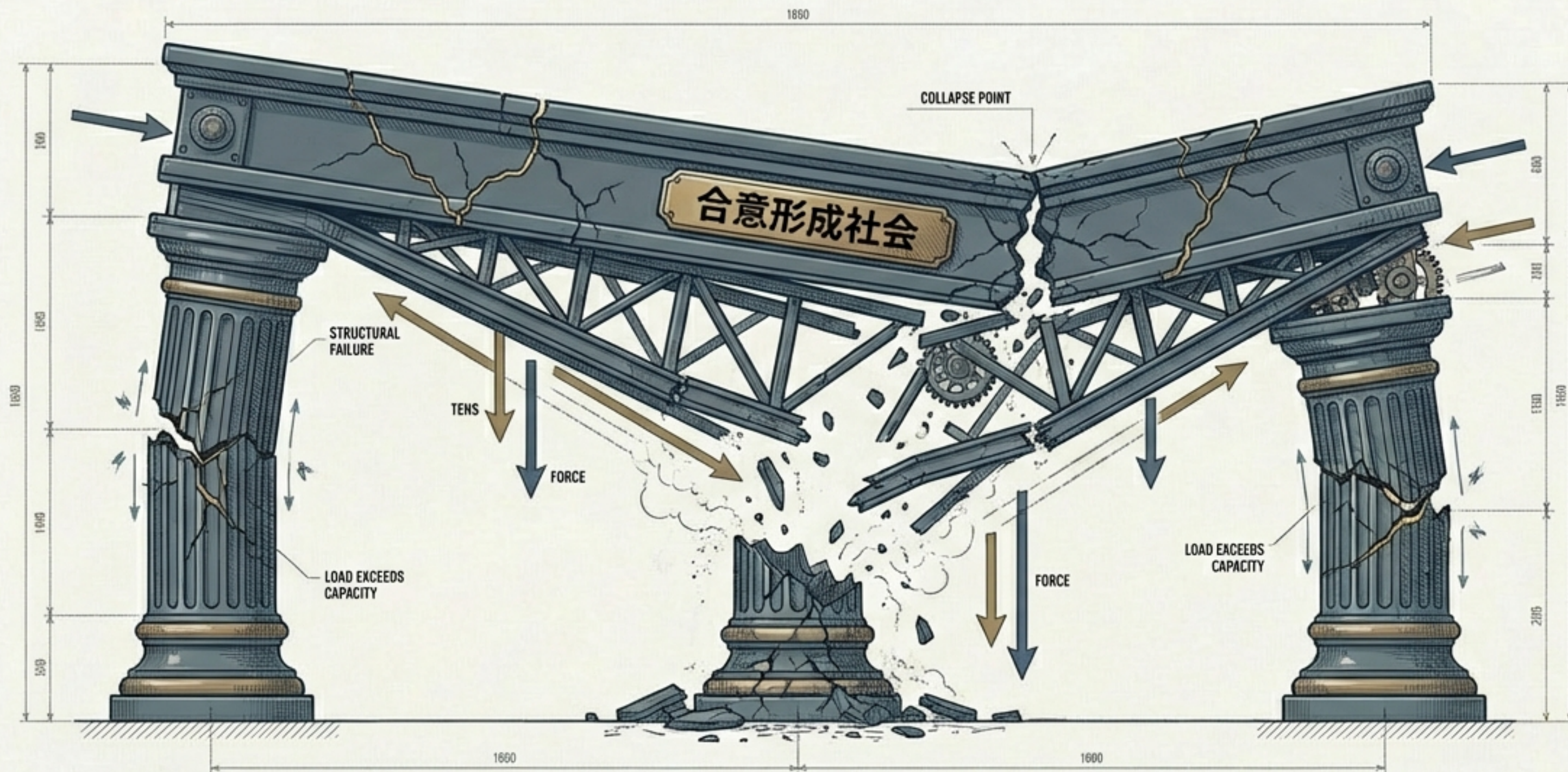
NCLは「正しい／間違い」を裁く道徳ツールではありません。社会OSが扱うべき対象はもっと冷たい物理法則です。三原理は理念ではなく「力学」であり、満たせば成立し、満たさなければ崩壊します。



## 壊れるか、壊れないか

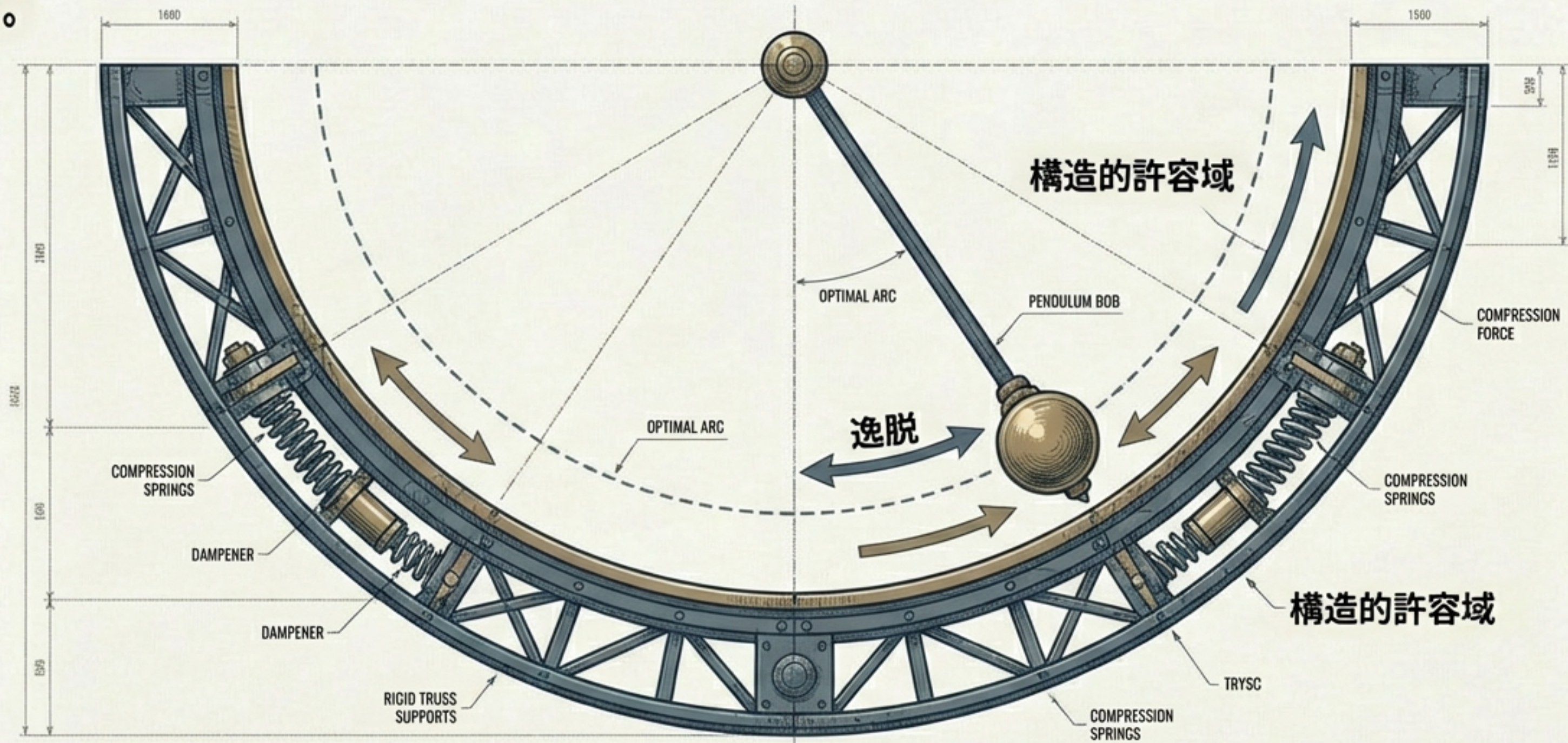
# 禁止事項ではなく「構造崩壊の発生条件」

NCLへの違反を「悪」として糾弾するのではなく、「破綻条件」として定式化します。ルールを破ることは罪だからいけないのではなく、システム的前提が物理的に崩壊するトリガーとなるため、許容されません。



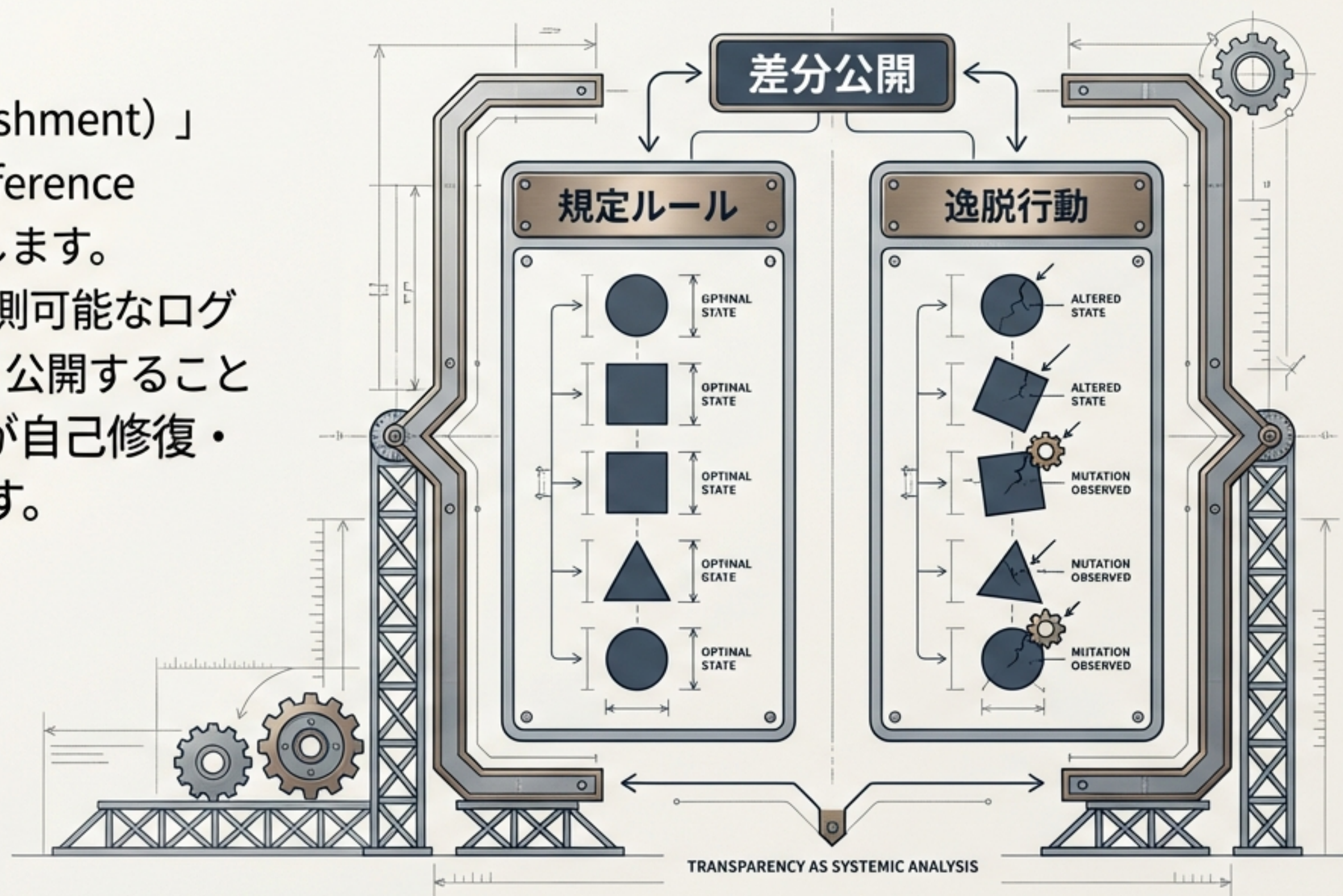
# 逸脱は防げない。だが「壊れない構造」は設計できる。

完璧な運用は存在しません。「問題ゼロ」という信仰を捨て、エラーや逸脱が起きることを前提とします。重要なのは、逸脱を防ぐことではなく、逸脱が起きても社会基盤全体が致命傷を負わない安全設計（フェイルセーフ）を組み込むことです。



# 免疫システムとしての「逸脱レヅジャ (Deviation Ledger)」

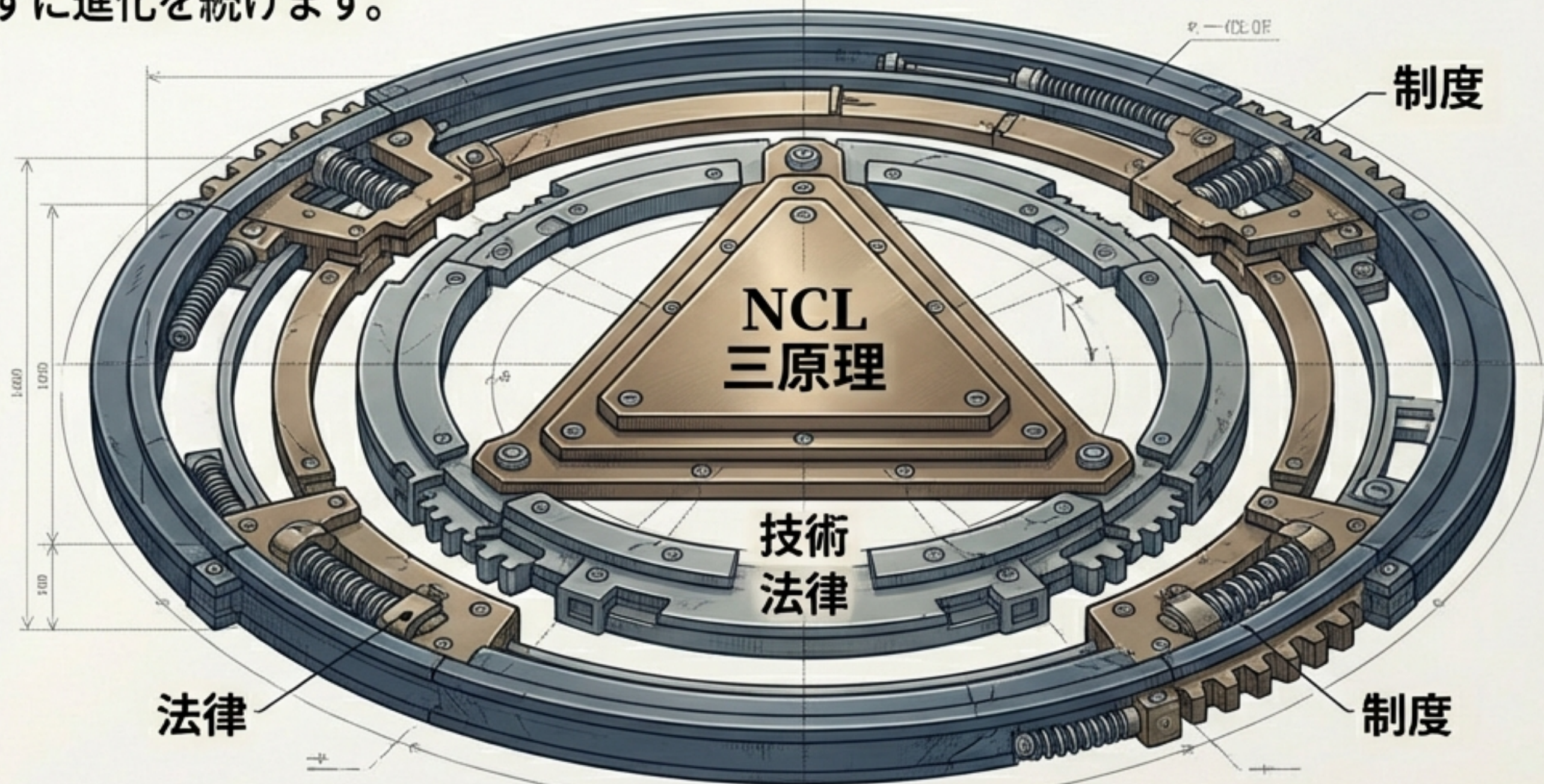
構造的な免疫系は「罰 (Punishment)」ではなく、「差分の公開 (Difference Disclosure)」によって機能します。逸脱を隠蔽せず、ただちに観測可能なログ (逸脱レヅジャ) として記録・公開することによって、社会自体が自己修復・回復する速度を最大化します。





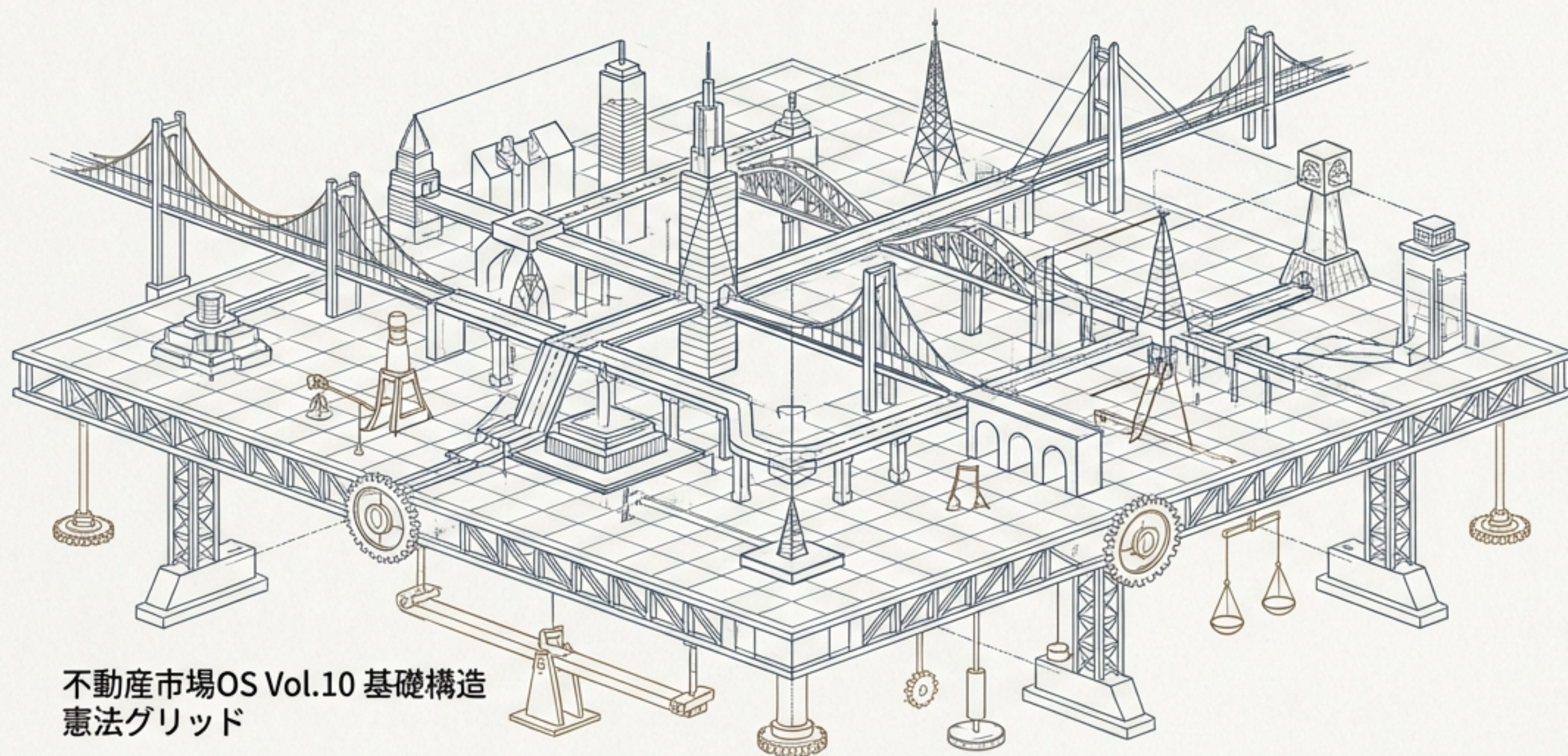
# 時代を超えてOSを受け渡す「継承規格」

社会OSを次世代へ渡すための規格。周辺の技術や実装手段は時代の変化に合わせて柔軟にアップデートを許容しますが、中心にあるNCLの「倫理原点（三原理）」の改変は一切認めません。これにより、本質を失わずに進化を続けます。



# 合意形成社会を崩壊させないための、不可逆な物理法則

不動産市場OS Vol.10 は、一企業のビジネスモデルではありません。これは、利害が対立する世界において、人類が「納得して選択し続ける」ためのインフラを守る、永続的な憲法の青写真（Constitutional Blueprint）です。



不動産市場OS Vol.10 基礎構造  
憲法グリッド